

## 関西圏地盤情報データベース研究利用報告書

研究課題	地域防災のための地盤性状とハザードマップの対応の研究		
研究者	(所属と氏名) 帝塚山大学 間瀬辰也		
研究期間	2020年6月～2021年3月	報告日	2021年4月13日
<p>関西圏の地盤について、微地形区分、土地利用区分、ハザードマップ等の対応を比較検討し、それらの関係を明らかにする。その時に、関西圏地盤情報データベースでのデータを参考に実施した。研究方法は、GISデータを用いて地盤条件のデータを重ね合わせることで地域防災マップを作成した。GISは、オープンソースのQGISを使用した。</p> <p>卒業研究テーマ一覧を下記にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府摂津市における液状化の危険性に関する研究(仮)</li> <li>・堺市および泉州地域の災害情報に関する研究</li> <li>・八尾市における南海トラフ地震被害想定と地盤性状に関する研究</li> <li>・西宮市の地盤条件と液状化被害の関係に関する研究(仮)</li> <li>・寝屋川市における南海トラフ地震被害想定と地盤性状に関する研究</li> <li>・和歌山県印南町における南海トラフ地震被害想定と地盤性状に関する研究</li> <li>・奈良市における南海トラフ地震被害想定と地盤性状に関する研究</li> </ul> <p>今年度は、詳細なボーリングデータに基づく土柱モデル(一次元解析)による地盤応答解析(等価線形解析や液状化解析)を実施することができなかった。2021年度は、関西圏地盤情報データベースの土質柱状図に基づき地盤応答解析を実施し、内閣府実施の南海トラフ地震シミュレーション結果のPL値との対応を確認する計画である。</p>			
公開資料(論文等):なし。			

※貸出期間終了後、研究利用報告書(本様式)と研究成果(論文等)を提出してください。  
 ※研究利用報告書は、KG-NETのHPで公開します。